

飯伊地区 産業経済動向

No.539 2024/2
(6.3.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

https://www.iidashinkin.co.jp/
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙	写真：喬木村でいちご狩り体験実施中です。……………	P 1
製造業	景況DIは前月から改善。先行きについても景況感好転を見込む声が多い……………	P 2
建設業	2月の公共工事は前年比減少。1月の住宅着工は前年比29%増加……………	P 4
商業・サービス業	景況DIは前月と変わらず。飲食業は好調続くも全体的に慎重な見方が多い……………	P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です	三遠南信地域路線バス乗り継ぎの旅(番外編) ～バス旅を終えて地域交通を振り返る～……………	P 6
環境特集	高校生が進学・就職したい地域で「飯田下伊那」は約3分の1にとどまる ー飯田・下伊那地域の高校生の意識調査結果からー……………	P 8
統計調査から	当地域の将来人口推計と回帰定着率……………	P 12
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標	……………	P 13
SDGs サポートサービスのご案内	……………	P 14

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月から改善。先行きについても景況感好転を見込む声が多い

当月の製造業の業況判断指数（DI）は0.0で、前月から11.4ポイント上昇。翌月予測はプラス35.7で、前月から13.7ポイント上昇。機械製造、食品製造ともに景況感好転の声と悪化の声が拮抗し、当月景況感は横ばいとなった。先行きの景況感については、機械製造のうち電気・精密・光学分野や、食品製造で好転を見込む声が多く、製造業全体では先月を上回るプラスとなった。一方、半導体向け分野では慎重な見方が多く、先行きについて好転を見込むとの声はなかった。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- 受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれるが、受注は横ばいとの声はやや多い。先行きについては、販売、受注ともに増加を見込む声が多い。
- 景況感…… 当月の景況感は横ばいとの声が多い。先行きは好転を見込むとの声が多く、悪化を見込む声は少なかった。

[企業からのコメント]

- ・「航空機防衛産業は着実に上向いてきている感がある。FA関係は落ち込んだままで今年後半より少し回復との話あり」「開発案件は動きがあるが、通常流動品の動きが鈍い。例年は年度内納期の製品が駆け込みで入るケースが多いが、今年はそのような動きがみられない」「中国で消費されていた生産設備が止まったままとなっている」「半導体露光装置メーカーの出荷台数は増加傾向だが、昨年からの在庫調整でブレーキ。踊り場。現時点で、さらなる増産の波は2025年以降」
- ・円安傾向が止まらない。輸入品を扱っている当社にとっては非常に厳しい状況が続いている。

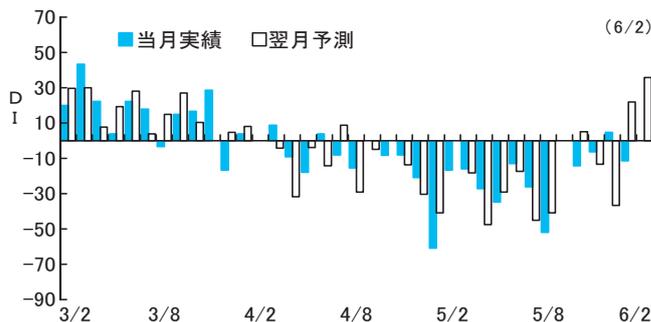
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- 受注、販売… 販売、受注ともに、業者により増減分かれる。
- 景況感…… 当月の景況感は業者により見方が分かれる。先行きはやや悪化～横ばい。

[企業からのコメント]

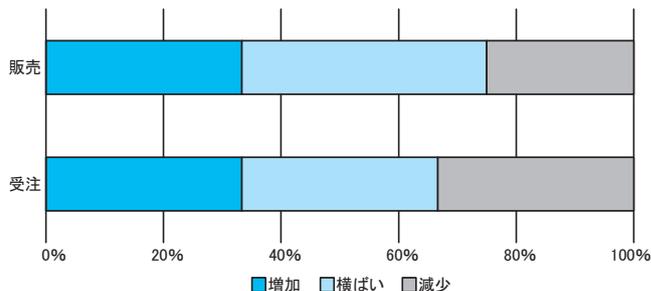
- ・「半導体前工程に関わる需要が微増傾向になってきている。中国向けが一部好調をキープ。後工程などの需要回復はもう少し先の予測となっており、全体像ではまだまだ低調が続くそう」「1月に比べ2月は減少傾向であったが、3月は輪をかけて悪くなる。要因は各取引先の決算月による受注減と考えており、4月はその反動で回復する予定」「サプライヤにおいては、発注業者の在庫過多のため、注文が停滞している傾向にある。新規開発案件があるところは良いが、リピート品などの定番品は出荷量の回復が見られない」
- ・「回復時期については、明確に示してくれる企業はなく、今年の夏が最短で、年内は厳しいという声も聞こえる」「2021～2022年の規模まで回復するのは、2025年夏以降～2027年と予測しているサプライヤがほとんど。2024年度は大きな需要回復ではなく、微増と捉えているサプライヤが多く、今秋もしくは今冬までは低調を予測している」
- ・「原材料高騰分を製品単価に反映しており、問題なし」「製品単価について、一部の取引先へ価格交渉を実施し、了承を得た。また別の取引先からは値下げ交渉があったが、現状を伝えて断った」

飯伊地区景況DI（製造業）

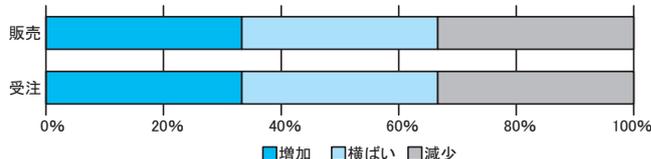


【DI (ディフュージョン・インデックス)】とは…
 景況に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
 「先月と比べて景況が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景況が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



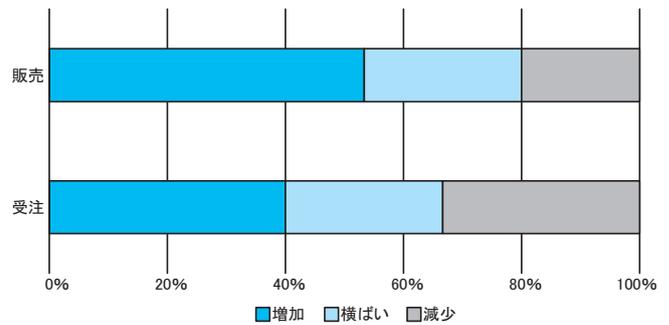
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに、業者により増減分かれるが、販売では増加との声が多い。先行きは、受注は増加見込みの声が多く、販売は増加と減少の声が拮抗している。
- ☑景況感…… 当月は好転と悪化との声が拮抗している。一方、次月以降は好転を見込むとの声がやや多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「自動車業界から新規品の引き合いが増加中、今後につなげたい」「車輛関係の一部部品が調整が掛かっている。産業機器部品は、在庫調整の終わりが見えてきた。4月以降の伸びを期待したい」「航空・防衛分野の受注が増えてきており、売り上げが上昇している」「例年2～3月にかけては年度末の駆け込み需要が一定数あるが、今年は気配がない」「大手企業における在庫調整がある」「全般的に、景気が良くなってこないとの声が多い」
- ・「採用への応募がない中で、パート社員の正社員化や女性社員の活躍の場を広げる自動化設備を導入する」「受注が増加傾向のため、人手を確保する必要が出てきた。設備投資は、省人化・省力化を目的とした投資を継続的に行っていく予定」「給料のベースアップを進めたいが、財源が乏しい」
- ・半導体業界は株価は好調であるものの、部品加工レベルでは年内は厳しいのでは、という情報もある。

●漬物、半生菓子、菓子原料等

- ☑売 上… 漬物は、前月比は横ばい～やや増加。菓子は前月比は業者により増減分かれる。景況感は当月、先行きとも業者により見方が分かれる。

[企業からのコメント]

- ・「春夏物への棚の切り替えで、やっと忙しくなりそう」「いつになく忙しい月だった。この忙しさは4月まで続きそう」「先行きは不透明」
- ・「全体に食品の値上がりは一服したと感じられているが、製造業者は価格転嫁が足りているとは言い難い」「チョコレート等の値上げの他、生あんも心配」「砂糖の値上げが止まらない」
- ・輸送費の上昇、ルートの変更等2024年問題への対応に苦慮。今後、再度製品単価の値上げを早急に実施しなければならない。

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売 上 … 前月比、次月以降とも業者により増減分かれる。景況感についても業者により見方が分かれた。

[企業からのコメント]

- ・縁起物市場は昨年末の勢い有る状況が期待されている。流通での売り残し在庫は減少との報告有り。
- ・昨年度より商品の値上げを敢行して利益維持できているが、寸善尺魔の状態が続く。1～2月は年間通して最も売上が減少する時期。
- ・高齢による廃業、社会環境の変化に伴う撤退業者も何社か表れてきた。

●上記以外の製造業

- ☑食品製造……… 販売は、前月比では業者により増減分かれる。当月の景況感も業者により見方が分かれるが、先行きは好転を見込むとの声が多い。
- ☑自動車向け部品… 販売は前月比ではやや増加。景況感は横ばいだが、先行きは好転見込みという。
- ☑印刷……… 販売は前月比では増加、前年比ではやや減少。

[企業からのコメント]

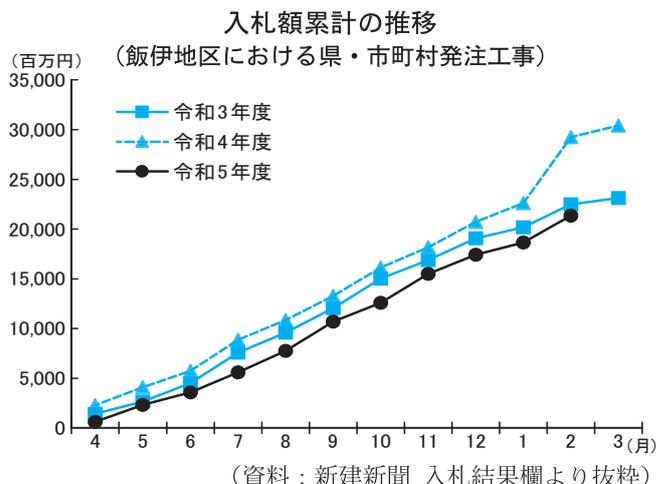
- ・「食料品の値上げに対する消費節約志向の状況は変わらず継続中」「飲食店はあまりよくなかったとの話は聞いたが、量販店は全体的に良いとのこと」「観光客が能登地震の影響か自粛気味で少ない。これから桜の季節になり増加することに期待」「M&Aによる事業分割や、事業売却、価格転嫁ができない同業種の倒産が増加傾向にある」
- ・「ビジネスフォーム伝票類が、レーザー出力伝票へと移行が進んでおり、大きく受注減となっている」「全般的に仕事が減っている。特に、スポット品での大物の仕事が少なくなっている感じがある」「シール用の原紙が4月から大幅に値上がりする話がある」
- ・販売点数、製造点数が減少傾向の為、量産設備への投資は現状では保留。小人力化補助機械や、AIを活用した管理システムには積極的に投資。
- ・「求人に対し反応がない。早く不足部署を補いたい」「パートの応募はほとんどないが、社員の応募は有る」

建設業

官公需

概況 2月の公共工事入札金額は前年比で59.5%減少、一昨年比では16.9%の増加

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約27.0億円（3月15日調査時点）。前年に比べ59.5%減少、2年前との比較では16.9%増加。
- ☑受注残高…………… 当月、先行きともに業者により増減分かれる。景況感は、一部にやや好転、やや悪化との声もあるが、大きな変化はないとの声が多い。先行きについても大きな変化はないとの声が多い。
- ☑原材料価格…………… 当月は横ばいとの声が多いが、先行きは上昇を見込むとの声が多い。



[企業からのコメント]

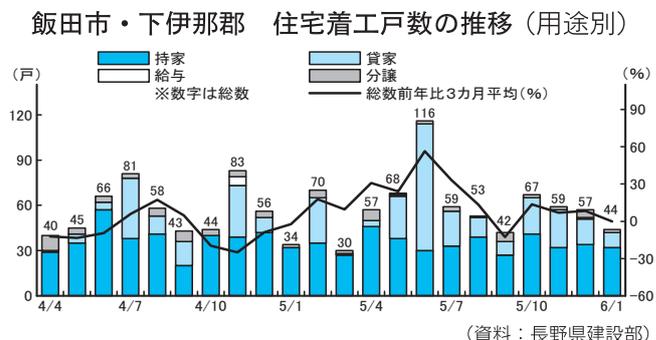
- ・「県発注案件は総合評価が多く、大手企業には有利だが中小企業には不利。今年度は工事量が減っているため、どの案件も応札者が多く読めない」「土木は国、県とも補正予算工事が発注されて競争が激しい。当地区は他地区に比べ仕事があるためか、他地区の業者も入札参加しており、さらに競争が激しい」
- ・「設備投資は積極的に行いたい、重機等の機械類が間に合わない」「仕事を受注したいが、人材不足で悩ましい」「仕事の依頼があっても、人員不足で受けることができない」
- ・資材単価の上昇に発注側の設計単価が追いつかず、工事量はあるものの利益に結びつかは別。

民需

概況 令和6年1月の住宅着工戸数は44戸で前年比29%増加。

持家は横ばいも、貸家が増加し、2か月連続で前年比プラス

- ☑住宅着工戸数… 当地区の1月の住宅着工戸数は44戸。前月比23%減、前年比では29%増。持家の戸数は32件で前年（32件）と変わらず。貸家が10件で前年（0件）から増加。分譲は2件で、前年（2件）と変わらず。
- ☑原材料価格…………… 前月比では概ね横ばいとの回答が多いが、先行きは上昇を見込むとの声が多い。



[企業からのコメント]

- ・「先の計画の話はボツボツあるが、早速の仕事は少ない。公共や一般工事は少なく、新築住宅やリフォームも低調」「建築は住宅着工件数も含めて減少傾向であるため、他の地区へ行って仕事を確保している」「新築物件は少ないが、リフォーム工事はぼちぼちある」
- ・製造業はこれから良くなるらしいが、まだ良くないところもあるようだ。工場建設計画も止まっている。

建設資材等

概況 2月の生コンの売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。骨材は前月比、前年比ともに増加

- ☑生コン … 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれるが、増加との声がやや多い。
- ☑骨材 … 売上は前月比、前年比ともに増加。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、リニア関連工事、砂防堰堤・護岸工事、三遠南信工事、工場・事務所建設に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の約5割。
- ・「2月のリニア工事は南アルプストンネル、伊那山地トンネル、天竜川橋梁の動きが活発だった。一気に骨材を使う生コンに対して、短期間かつ大量に納品するという良い予行演習になったといえる」「リニアに関係しているプラントでは、動きが出てきたようで忙しくなっていると聞いている」
- ・4月から業界として大幅値上げが実行される。売り手市場になっていることが功を奏しているが、この先さらに値上げをして、人員確保、車両確保を行っていく必要性を組合内では確認している。

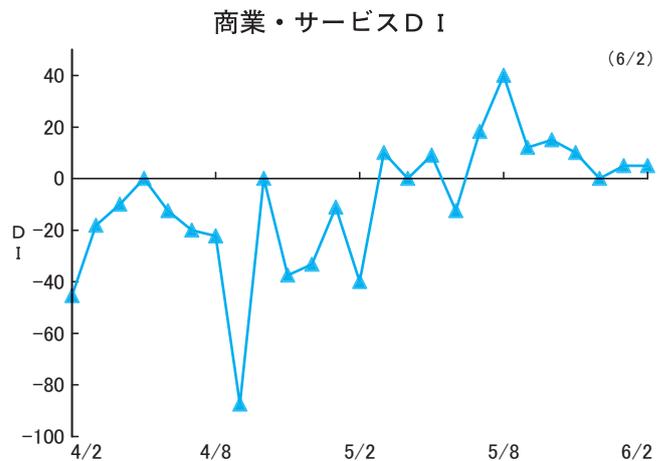
商業・サービス業

概況 景況DIは前月と変わらず。飲食業は好調続くも、全体的に慎重な見方が多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数(DI)はプラス5.0で、前月から変わらず。

飲食業では、売上が昨年比で増加との声が聞かれ、景況感も好転との声が複数聞かれた。また食品卸でも、景況感好転の声が複数あった。

一方、宿泊業では業者により景況感の見方が分かれ、一部には悪化したとの声も聞かれた。小売業や一部の卸売業では、売上が増加傾向にあっても景況感は大きく変わらないという声もあり、全体的には慎重な見方をしている業者が多い。



主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比は業者により増減分かれる。前年比では増加との声が多い

☑売上…前月比は業者により増減分かれる。景況感はやや悪化～横ばい。

[企業からのコメント]

- ・2月はうるう年で1日多かったこともあり、昨年比で売上は大きく増加。来店客、客単価、買上げ点数とも増加傾向にあり、順調に推移。同業他社や大手スーパーも、来店客数を見る中では好調と思われる。
- ・サービス業は暖かくなるにつれ来客数も増えてくるが、爆発的な増加につながる要因はない。

●卸売業 概況 売上は前月比は業者により増減分かれる。景況感は横ばい～やや好転の声が多い

☑売上…食肉の売上は前月比やや減少。食品、青果、菓子、電設資材は前月比横ばい～やや増加。

[企業からのコメント]

- ・野菜は、昨年秋から続いていた高値も2月に入り落ち着き、7割の品目で前年価格を下回った。特にレタス、小松菜が安く、キャベツ、白菜、ナスも安い。一方、キュウリ、トマトは高く、玉ねぎも大幅高で、全体では入荷量増、価格はやや安。果実は、品薄のふじ(りんご)、パイナップルが大幅高、みかんや苺も高く、全体ではみかん、伊予柑、八朔の入荷減もあって入荷量やや減、価格高となった。寒暖差や日照不足により、苺の入荷量も不安定になる見込み。
- ・売上面では、前年対比で非常に厳しい状況。原因は、昨年はまだコロナ禍により自宅家電製品および自宅設備の改修需要が多く見られたことによる。いわゆる特需がなくなったことによる売上減少である。その他、電設資材、省エネ商材、再生可能エネルギー商材は例年並み。仕入面では、先月同様に幹線・電線の入りが悪い。
- ・流通関連のうち、飯伊向けが極端に落ち込んでいる状況が続いている。市内の焼肉店は、低価格帯の店へ客が流れている。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 飲食業の売上は前年比ではやや増加～増加。宿泊業では業者により増減分かれる。

景況感は、飲食業では横ばい～好転、宿泊業では業者により見方が分かれた

☑売上…飲食業は前月比では業者により増減分かれ、前年比ではやや増加～増加。宿泊業では前月比、前年比とも業者により増減分かれる。

[企業からのコメント]

- ・「1月の新年会が終わり、2月は心配していたが大きな売上減少にはならず少し安心している。ただ、コロナ前の2019年と比べればまだまだの水準」「前年売上を超えて良かったが、景気が良いのかは分からない」「まだまだ観光客は来ず、3月半ばからお客が動き出すと思うが、消費額は中々伸びないと思っている」「年度末に向けて利用は増えそう」
- ・「毎年2～3月は静かな月だが、今年は特に顕著に感じた。能登半島地震の影響なのか、ヘブンスそのはらのゴンドラ故障による営業中止の影響か、全体的な出控えによるものかは不明」「北陸応援割や北陸新幹線延伸による影響がどのように表れるか心配」「2月以降、宿泊予約の動きが鈍い。5月の連休以降の予約が入り始めている」
- ・24時間営業の公共交通のタクシーが当たり前でなくなっている。当地区でそのような状況が起きると、飲食店関係者に大きな影響が出てしまうが、国のライドシェア問題と合わせて対策が必要。
- ・「外国人材の積極的な採用」「人の募集をしても集まらない状況は変わらない。人員が1番の困りごとになっている」「2月末で社員が一人抜ける為、来月は定休日や半休を入れないとシフトが回せない状況になる」

三遠南信地域交流たずねある記 (13)

三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅 (番外編)

～バス旅を終えて地域交通を振り返る～

8回に亘って連載した「三遠南信地域路線バス乗り継ぎの旅」は、皆さまに三遠南信地域の、特に浜松、豊橋、飯田といった中心都市でなくてその周辺地域、県境を接している地域(越境地域)について理解いただくことを企図したのだが、読者の皆さまに少しはその助けとなり得ただろうか。バス旅を終えてこの行程を振り返る。

■バス旅で見えてきたこと

路線バスを乗り繋いで見えてきたことがある。それは「路線バスは出発時の乗車人数で、その路線の輸送量が決まる」ということ。浜松駅なり豊橋駅のバスターミナルからそれなりの乗客を乗せ出発する。乗客は途中のバス停で順次降車していくが、乗車する人は極めて少ない。こうして先に行くに従い車内には私一人とかもう何人かという状況になる。

つまり地域住民が自分たちの足として途中の停留所で頻りに乗り下りしなくなっているとも言えようか。バス路線の途中に教育機関や大きな事業所、ショッピングセンターや基幹病院があれば別であろうが、今回のバス旅では退勤時間帯の事業所(豊橋市)からの乗車でバスが混雑した(豊鉄バス 二川線)ことがあったが、時間帯が早かったせいか病院やショッピングセンター(ともに豊川市・豊鉄バス 新城線)では乗り降りが殆ど見られなかった。路線バスは高齢者などの「通院や買い物」のためとよく言われるが、路線バスでの通院や買い物は実はそれほどではないのでは、という仮説も立てられる。コロナ禍による影響もあるだろう。

実際、今の高齢者は相当な年齢まで移動に自動車を使う。いよいよ自動車を運転できなくなる頃にはバス停まで歩くことが困難になる。そうなったら乗合タクシーくらいになるが、これも停留所まで出て乗るものなので利用が難しくなる。それ以上となると福祉タクシーの世界となり、地域公共交通の領域外となってしまう。

■バス旅のススメ

日頃路線バスの利用がない私が今回バス旅を経験してみて、路線バスによる旅はたいへん魅力的と感じた。物の見方としてよく「鳥の目、虫の目」といわれるが、バス旅はまさに虫の目。その地域がよく見える。自動車を運転して見える景色と同じ筈だが、乗降がなくても各バス停に停車することや、乗り合わせた乗客の様子が窺えたり言葉を交わしたり、運転手とのやり取り、乗り継ぎ待ち時間に停留所の周りを散策したり、バス路線を調べ地理を覚え、その土地の歴史を反芻し…、などが違いとなるのだろうか。

今回はテレビ番組ルールに則ったものであるが、もっと緩やかなバス旅で良いのではないか。バス路線が途切れている区間は鉄道で移送する、あるいは徒歩とせずタクシーを予約しておくなどでも存分にバス旅を満喫できる。

ただ一点、バス旅は乗換え待ち時間が長いことを覚悟する必要がある。30分以内くらいだったら超ラッキー。特に日中は2～3時間待ちということもざらにある。

■三遠南信地域へバス旅で

次頁に今回の三遠南信路線バスの旅の経路を再掲した。こうして見ると曲りなりにも三遠南信地域内がバス路線で繋がっていることは大きな財産といえる。例えば、飯田から北へ向かい諏訪地域や松本地域を目指そうとしたとき、飯田市を出て早くも高森町や松川町で、バス路線(コミュニティバス)は町中心部と町内主要施設を結ぶもので上伊那地域へ向かって繋がっていない。次の中川村では、伊那大島駅から大草(役場前)まで行くコミュニティバスがあるがそこまで。飯島町は飯島駅から昭和伊南総合病院を結ぶコミュニティバスがあるのみ。また駒ヶ根市内は、路線バスは駒ヶ根ロープウェイ線(駒ヶ根駅～駒ヶ根ロープウェイ駅 伊那バス)以外なく、市内のコミュニティバスは平成25年に廃止されて、現状はデマンド型乗合タクシーのみの運行となっている。こうして飯田市を出たところで引き返さざるを得ない。

右路線図には今回辿ったコースとは別に考えられるバリエーションルートを図示した。もしこれからバス旅をされようとする方にはいろいろと試していただければと考える。

もうしばらくすると暖かくなり、旅行・行楽に適した季節になる。飯田からは南部のかじかの湯やこまどりの湯へはバス1本で行ける。遠山郷には現在閉鎖されているがかぐらの湯がいずれ再開されるだろうし、話題の青崩トンネル方面を訪ねることができる。三遠南信地域を路線バスで、併せてJR飯田線の利用もご検討いただきたい。(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)



道の駅信州新野千石平



浜松駅バスターミナル



国道152号と天竜川
(浜松市天竜区)



舞阪港付近

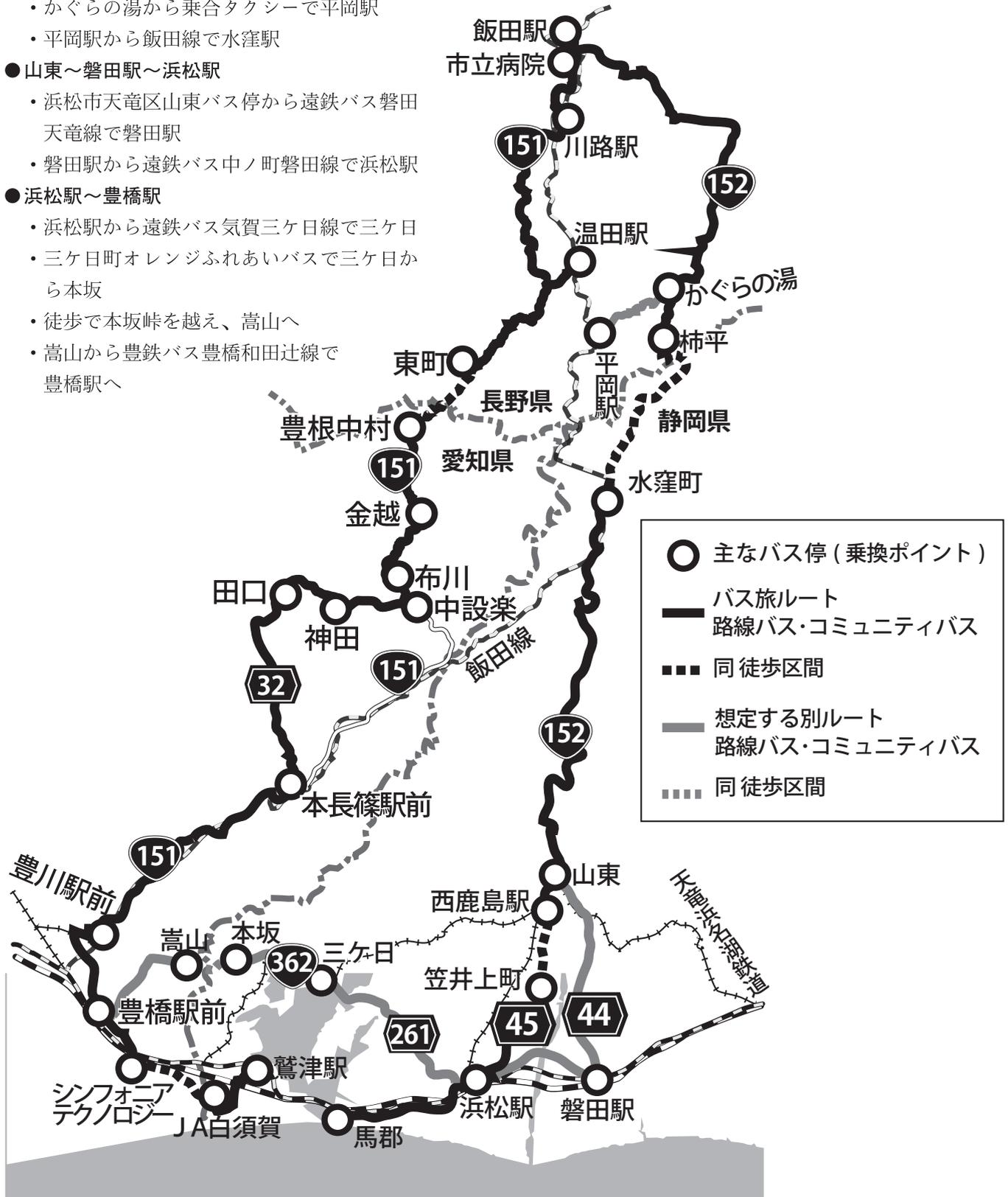


設楽町神田(かだ)

三遠南信地域路線バス乗り継ぎの旅 行程

■想定される別ルート

- かぐらの湯～水窪町
 - ・かぐらの湯から乗合タクシーで平岡駅
 - ・平岡駅から飯田線で水窪駅
- 山東～磐田駅～浜松駅
 - ・浜松市天竜区山東バス停から遠鉄バス磐田天竜線で磐田駅
 - ・磐田駅から遠鉄バス中ノ町磐田線で浜松駅
- 浜松駅～豊橋駅
 - ・浜松駅から遠鉄バス気賀三ヶ日線で三ヶ日
 - ・三ヶ日町オレンジふれあいバスで三ヶ日から本坂
 - ・徒歩で本坂峠を越え、高山へ
 - ・高山から豊鉄バス豊橋和田辻線で豊橋駅へ



参考：『図説・三遠南信のすがた』交通インフラ・バス路線（34頁）（愛知大学三遠南信地域研究センター）

高校生が進学・就職したい地域で、 「飯田下伊那」は約3分の1にとどまる

－ 飯田・下伊那地域の高校生の意識調査結果から －

飯田・下伊那地域には4年制の大学がなく、進学を希望する高校生は地域を離れることが当たり前の状況であり、その高校生の多くが地域に戻ってこないことがハローワーク飯田が調査している帰定着率(12ページ参照)でも示されており、リニア開通を見据える当地域の大きな課題となっています。

今回、しんきん南信州地域研究所では、高校生をはじめとする若年層が戻ってくるために何が必要か、そのためにどのような地域を目指すのか、について考えるきっかけとするため、当地域の高校生の進学・就職希望、学びたい分野、飯田下伊那地域で興味・関心のあるもの、就職する会社を選ぶ際に重視するものなどに関するアンケートを実施しました。今回はその結果についてご紹介します。

ご多忙の中ご回答いただいた高校生の皆様、また本調査に関しましてご協力いただいた各校の先生方に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

I アンケート概要

- ・飯田下伊那地域の高校生(3,939人)を対象として、インターネットによる回答を集計
- ・回答総数 1,371(1年生455、2年生437、3年生479) 回答率34.8%
- ・調査期間 2024年1月25日～2024年2月29日

II アンケートの結果

●高校生の卒業後の進路

まず、高校生が卒業後の進路についてどのように考えているかについて、「大学などへの進学」「就職」「まだ決めていない」の内から一つ選択してもらった。

「大学などへの進学」との回答は71.6%(982人)、「就職」との回答は19.9%(273人)、「まだ決めていない」との回答は8.5%(116人)となった。学年別に見ると、学年が低いうちは「まだ決めていない」との回答が多く、学年が上がるにつれて、進学もしくは就職の回答が増加している。

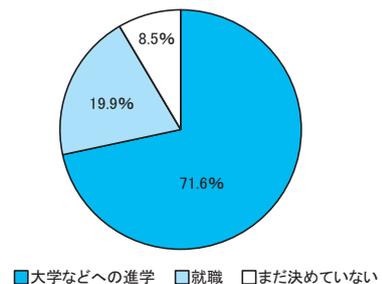
文部科学省が実施している「学校基本調査」によると、2023年3月卒業の全国の高校生の大学等・専修学校進学率は77.0%、就職率は14.2%となっている。同調査における長野県の高校生では、大学等・専修学校進学率は75.2%、就職率は15.8%となっている。全国・長野県全体と比較すると、当地域の高校生は就職を考える生徒がやや多い結果となった。

●学びたい分野

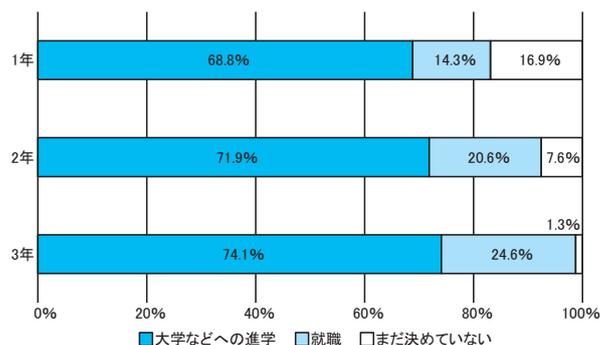
次に、卒業後の進路について「大学などへの進学」「まだ決めていない」と回答した人に、今後学びたい分野、関心のある分野について「外国語」「文学」「歴史学」「哲学」「経営・経済学」「法学」「教育学」「理学(数学・化学・生物学・物理学など)」「工学」「農学・林学」「保健(医学・薬学・看護学など)」「家政(食物学・児童学など)」「芸術(音楽・美術など)」「情報」「環境」「その他」の内から、複数回答で聞いた。

最も多かったのは「保健(医学・薬学・看護学など)」(249人)で、「その他」(185人)、「経営・経済学」(164人)、「家政(食物学・児童学など)」(150人)が続いた。「その他」では、美容関係が最も多く(20人)、次いで動物関係(13人)、心理学(13人)、スポーツ(8人)などとなっている。

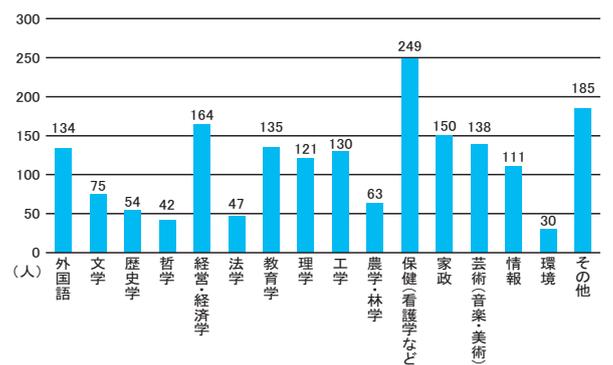
グラフ1-1 高校卒業後の進路はどのように考えているか(単一回答)



グラフ1-2 高校卒業後の進路はどのように考えているか(学年別)



グラフ2 今後、学びたい分野、関心のある分野について(複数回答)

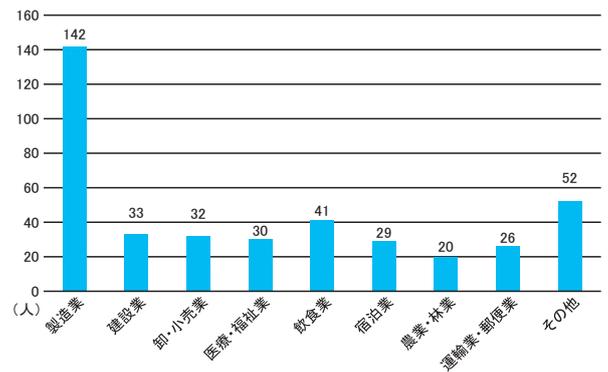


●働きたい業種

併せて、卒業後の進路について「就職」と回答した人に、働きたい業種について「製造業」「建設業」「卸・小売業」「医療・福祉業」「飲食業」「宿泊業」「農業・林業」「運輸業・郵便業」「その他」の内から、複数回答で聞いた。

最も多かったのは「製造業」(142人)で、「その他」(52人)、「飲食業」(41人)が続く。「その他」では、公務員が最も多く(7人)、自衛隊(3人)、事務(2人)などが複数の回答があった。

グラフ3 働きたい業種について(複数回答)

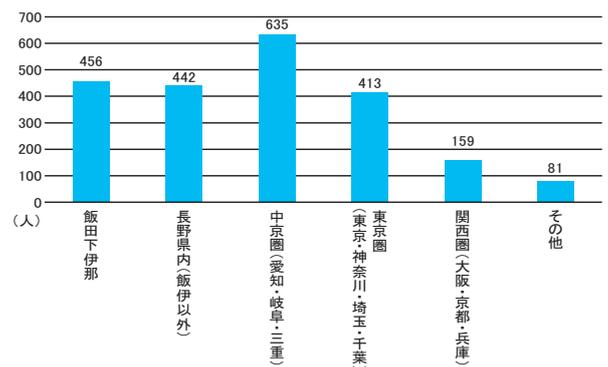


●高校卒業後、進学・就職したい地域

続いて、卒業後にどの地域に進学・就職したいかについて、「飯田下伊那」「長野県内(飯田下伊那以外)」「中京圏(愛知県・岐阜県・三重県)」「東京圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)」「関西圏(大阪府・京都府・兵庫県)」「その他」の内から複数回答(最大3つまで)で聞いた。

最も多かったのは「中京圏(愛知県・岐阜県・三重県)」(635人)で、「飯田下伊那」(456人)、「長野県内(飯田下伊那以外)」(442人)、「東京圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)」(413人)が続いた。

グラフ4 高校卒業後、どの地域に進学・就職したいと思うか(3つまで)



ハローワーク飯田が調査している「回帰定着率」(その年、飯田下伊那で就職した高校生・大学生÷その年、卒業した高校生。12ページ参照)は、概ね4割程度で推移しているが、この質問で「飯田下伊那」と回答した人は全体の約3分の1である。回答数を最大3つまでとした影響については留意する必要があるが、回帰定着率調査と比較するとやや低い数値となっている。

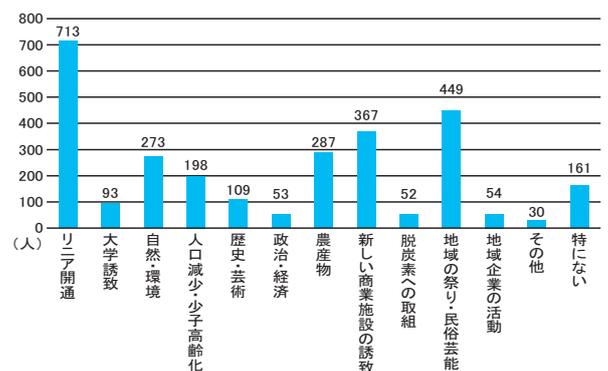
この質問で「飯田下伊那」と回答した人は全体の約3分の1である。回答数を最大3つまでとした影響については留意する必要があるが、回帰定着率調査と比較するとやや低い数値となっている。

●飯田下伊那で、興味・関心のあるもの

飯田下伊那地域で、興味・関心のあるものについて、「リニア中央新幹線の開通」「大学誘致」「自然・環境」「人口減少・少子高齢化」「歴史・芸術」「政治・経済」「農産物(市田柿、りんごなど)」「新しい商業施設(ショッピングモールなど)の誘致」「脱炭素への取組」「地域のお祭り・民俗芸能(りんごん、お練り祭り、歌舞伎など)」「地域企業の活動」「その他」「特に興味・関心のあるものはない」の内から、複数回答で聞いた。

「リニア中央新幹線の開通」が最も多く(713人)、「地域の祭り・民俗芸能(りんごん、お練り祭り、歌舞伎など)」(449人)、「新しい商業施設(ショッピングモールなど)の誘致」(367人)、「農産物(市田柿、りんごなど)」(287人)、「自然・環境」(273人)が続いた。高校生のリニア開通への興味・関心が高いことを窺わせると同時に、祭りや民俗芸能、農産物、自然といった、地域の特徴的な項目への回答が多い点について、公民館活動をはじめとする地域とのつながりを大切にす当地域の特色が、この結果に表れたのかもしれない。

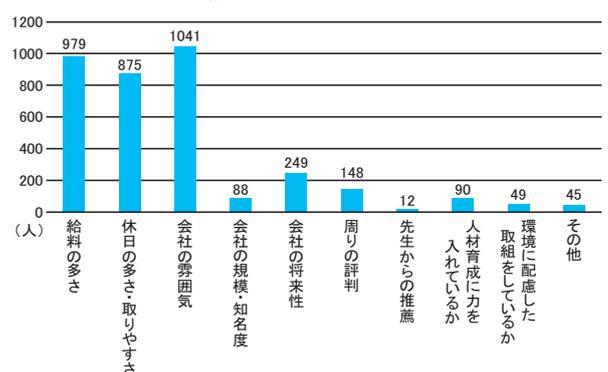
グラフ5 飯田下伊那地域で、興味・関心のあるもの(複数回答)



●就職する会社を選ぶ際に重視すること

続いて、就職する会社を選ぶときに重視したいことについて、「給料」「休日の多さ・取りやすさ」「会社の雰囲気」「会社の規模・知名度」「会社の将来性」「周りの評判」「先生からの推薦」「人材育成に力を入れているか」「環境に配慮した取組をしているか」「その他」の内から複数回答(最大3つまで)で聞いた。

グラフ6 就職する会社を選ぶときに、重視したいこと(3つまで)



「会社の雰囲気」が最も多く(1,041人)、「給料の多さ」(979人)、「休日の多さ・取りやすさ」(875人)が続く。上位3項目が他の項目を引き離しており、離れて「会社の将来性」(249人)、「周りの評判」(148人)、「人材育成に力を入れているか」(90人)が続いた。

この結果から、就職する会社を選ぶ際に「会社の雰囲気」という定性的な要素を重視する回答が最も多いことが分かった。「給料の多さ」や「休日の多さ・取りやすさ」といった目に見えやすい要素に比べ、「会社の雰囲気」は目に見えにくく、高校生に伝えていくことも容易ではないが、逆に、生徒と接点を持って会社の良い雰囲気を伝えることができれば、就職を考える際に検討してもらえる可能性は高くなるのではないかと考えられる。

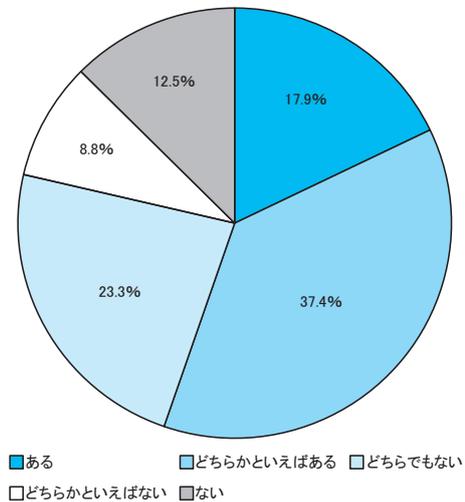
●環境問題やエネルギー問題に対する興味・関心

本調査では、高校生の環境問題やエネルギー問題に対する興味・関心についても聞いており、「ある」「どちらかといえばある」「どちらでもない」「どちらかといえばない」「ない」の内から一つ選択してもらった。

「ある」「どちらかといえばある」を合わせて55.3% (758人)となり、「ない」「どちらかといえばない」を合わせた21.3% (293人)を上回った。

「ある」「どちらかといえばある」との回答が「ない」「どちらかといえばない」との回答の2.5倍となっており、環境問題やエネルギー問題に対する興味・関心が高校生の中でも高まっている様子が窺える。若年層の採用を考える上で、環境への取り組みも重要になってきているといえるのではないかと考えられる。

グラフ7 環境問題・エネルギー問題への興味・関心 (単一回答)



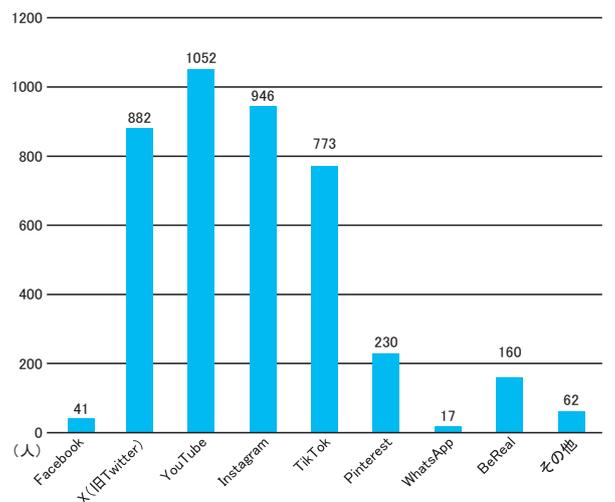
●情報収集のために使用する SNS ツール

情報収集のために主に使用している SNS についても聞いており、「Facebook」「X (旧 Twitter)」「YouTube」「Instagram」「TikTok」「Pinterest」「WhatsApp」「BeReal」「その他」の内から、複数回答で聞いた。

最も多かったのは「YouTube」(1,052人)で、「Instagram」(946人)、「X (旧 Twitter)」(882人)、「TikTok」(773人)が続く。この上位4項目が圧倒的に多く、「Pinterest」(230人)、「BeReal」(160人)、「Facebook」(41人)の回答は少なかった。

この結果から、高校生の8割近くはYouTubeを見て情報を収集していることが分かる。一昔前は、ホームページを充実させることが推奨されたが、現代の高校生に対してアプローチするにはSNS、それも動画を使って発信することが求められるといえる。

グラフ8 情報収集のために使用している SNS (複数回答)



Ⅲ 飯田下伊那地域に戻ってきてもらうために

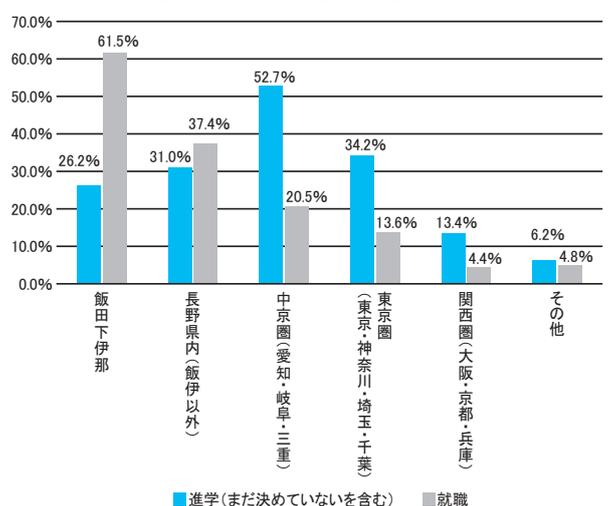
●卒業後の進路×卒業後、進学・就職したい地域

ここからは、上で紹介した結果を基に、当地域に高校生をはじめとする若年層に戻ってきてもらうためのヒントについて考えていく。まず、卒業後、どの地域に進学・就職したいか(グラフ4)について、卒業後の進路で「大学などへの進学」(まだ決めていないを含む)と回答した人と「就職」と回答した人に分けて示したのがグラフ9である。

「飯田下伊那」を選択した割合は、「大学などへの進学」と回答した人が26.2%、「就職」と回答した人が61.5%となり、35.3ポイントの差がついた。

進学率が年々高まっている現状において、就職を希望する高校生を増加させることは現実的ではないが、就職を希望す

グラフ9 卒業後の進路×卒業後、進学・就職したい地域



る高校生はまず自身の住んでいる地域を第一の選択肢として考えていることの現れともいえる。そのため、高卒でも就職できる魅力的な会社が増えることで高校生の選択肢が増えてくれば、地域に留まってくれる高校生が増える可能性はあるのではないかと。

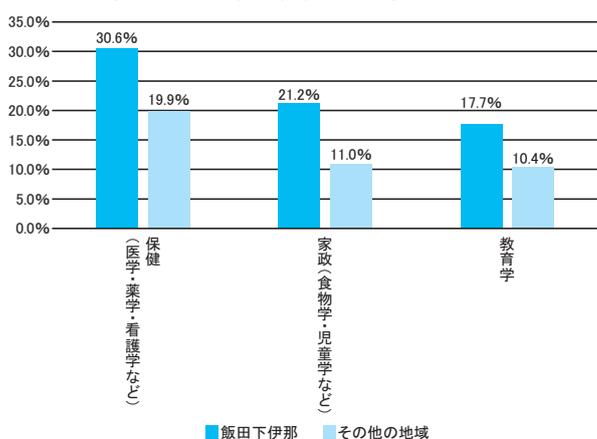
●**学びたい分野、飯田下伊那で興味・関心のあるもの、就職する会社を選ぶ際に重視すること×卒業後、進学・就職したい地域（飯田下伊那とその他の地域）**

続いて、学びたい分野（グラフ2）、飯田下伊那で興味・関心のあるもの（グラフ5）、就職する会社を選ぶ際に重視すること（グラフ6）について、卒業後、進学・就職したい地域で「飯田下伊那」と回答した人と、その他の地域を選んだ人（「飯田下伊那」と回答しなかった人）に分けて示したのがグラフ10、11、12（5ポイント以上の差があった項目を抜粋）である。

※環境問題やエネルギー問題に対する興味・関心（グラフ7）、情報収集のために主に使用しているSNS（グラフ8）については、「飯田下伊那」と回答した人と、その他の地域を選んだ人で、明確な差はなかった。

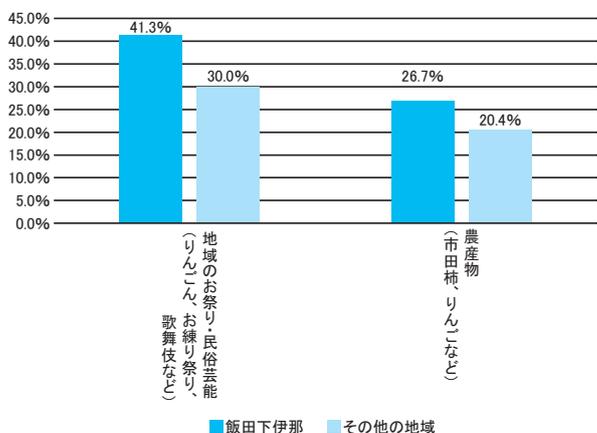
学びたい分野（グラフ10）においては、「飯田下伊那」と回答した人が、その他の地域を選んだ人よりも、「保健（医学・薬学・看護学など）」で10.7ポイント、「家政（食物学・児童学など）」で10.2ポイント、「教育学」で7.3ポイント、それぞれ高かった。これらの分野は、飯田短期大学で専攻できる分野と共通しており、地域に根差した高等教育機関があることで、これらの分野を学び、地元で就職したいと考える高校生が一定数いることを窺わせる。単に高等教育機関が誘致されるだけでは地域への就職にはつながらない可能性については、長野大学の事例紹介（飯伊地区産業経済動向 No.532（令和5年7月））で触れたが、地域内に多くの卒業生を送り出している飯田短期大学などの一層の充実が図られることは、地域での就職を増やす意味で重要であると思われる。

グラフ10 学びたい分野×卒業後、進学・就職したい地域



飯田下伊那で興味・関心のあるもの（グラフ11）においては、「飯田下伊那」と回答した人が、その他の地域を選んだ人よりも、「地域のお祭り・民俗芸能（りんごん、お練り祭り、歌舞伎など）」で11.3ポイント、「農産物（市田柿、りんごなど）」で6.3ポイント、それぞれ高かった。地域への関心が高い人が、地元回帰を考えている傾向が表れている。

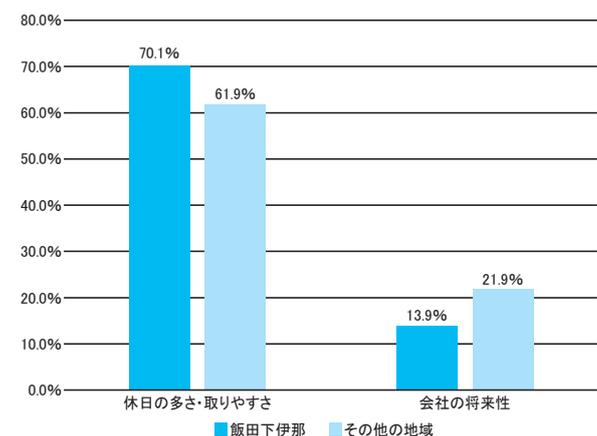
グラフ11 飯田下伊那で興味関心のあるもの×卒業後、進学・就職したい地域



※「興味・関心がある」から「飯田下伊那に帰ってきたい」という見方と、「飯田下伊那に帰ってきたいと考えている」から「興味・関心がある」という見方、両方の面がある点については留意する必要がある。

就職する会社を選ぶ際に重視すること（グラフ12）においては、「飯田下伊那」と回答した人が、その他の地域を選んだ人よりも、「休日の多さ・取りやすさ」で8.2ポイント高かった一方、「会社の将来性」では、その他の地域を選んだ人の方が8.0ポイント高かった。この結果から、飯田下伊那に進学・就職したいと考える高校生は、その他の地域へ進学・就職したい高校生よりも休日≒プライベートを重視したい、ワークライフバランスを大事にしたいと考えている可能性が考えられる。地域企業としては、採用の際にこの点を考慮しておくことは有効と思われる。

グラフ12 就職する会社を選ぶ際に重視すること×卒業後、進学・就職したい地域



その他の地域を選んだ人の方が、会社の将来性を重視したいと回答した割合が高い点については、都会にある大手企業の方が発信している情報量が多く、高校生が将来性をイメー

ジしやすいことが影響している可能性がある。上述した「会社の雰囲気」と同様に、高校生に将来性を伝えていくことは難しいことではあるが、逆に、地域企業が高校生に向けて将来性をアピールできるのであれば、当地域で働くことを考えてくれる可能性はあるのではないかと考える。

IV おわりに

以上、高校生からのアンケート結果を紹介させていただくとともに、飯田下伊那に帰ってきてもらうためのヒントについても紹介させていただいた。個人的見解ではあるが、地域住民の立場では、子どもが地域から離れる前に地域の特徴的なものに興味・関心を持ってもらうように取り組むこと、また地域企業の立場では、子どもが地域から離れる前に会社の雰囲気や将来性といった定性的な要素について、接点を持って情報発信を行い、若年層にとっての判断材料を増やすことが求められるのではないかと考える。

読者の皆様にとって、若年層が帰ってきたいと思える地域づくりを考える上での参考となれば幸いである。

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 竹内 文人)

統計調査から

当地域の将来人口推計と回帰定着率

高校生の意識調査に関連して、当地域の将来人口推計と、ハローワーク飯田が調査している回帰定着率の推移についてご紹介する。

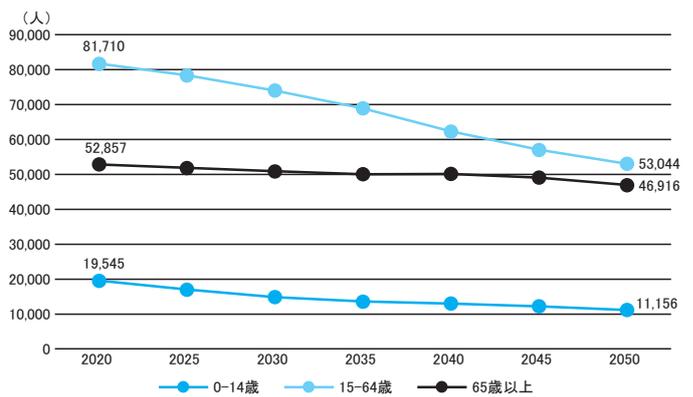
国勢調査による飯田下伊那14市町村の人口は、2020年時点で155,346人となっている。また、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」（出生中位・死亡中位仮定）の2023年公表データによると、2050年での飯田下伊那の人口は111,116人と予測されており、2020年から約4.4万人、率にして28.5%減少するとされている。

年齢3区分（0-14歳、15-64歳、65歳以上）別の人口予測（グラフ1）をみると、生産年齢人口（15-64歳）の減少幅が最も大きく、2020年と比較して2050年は約2.8万人減少し、率にして35.1%の減少が予測されている。コロナ禍が明けた令和6年の段階においても人手不足感は強いものがあるが、生産年齢人口に関してはこの30年で概ね3分の2となる予測であり、人手不足についてはこれから加速度的に強くなることが懸念される。年少人口（0-14歳）は、2020年と比較して2050年は約8千人減少し、率にして42.9%の減少が予測されており、減少率では生産年齢人口よりも落ち込みが激しい。

また、当地域の回帰定着率（グラフ2）は概ね4割前後で推移しているが、若年層の減少が進むにつれて高校の卒業生も減少しており、2021年の卒業生は2011年と比較して169人減少、率にして10.8%減少している。そのため、当地域での就職者数も減少傾向にあることが見てとれる。

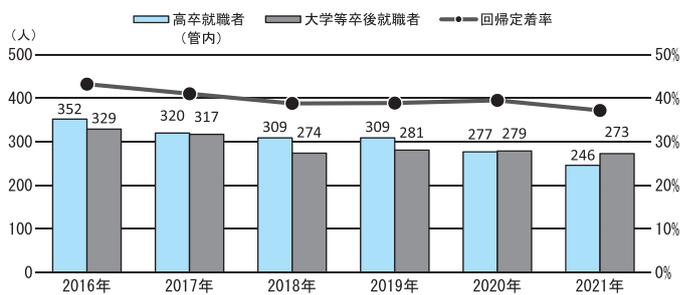
以上のように、地域を支える人の数は今後大幅な減少が見込まれており、若年層の回帰率向上は当地域にとって喫緊の課題であるといえる。

グラフ1 飯田下伊那地域の年齢3区分別の人口予測



(総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」から作成)

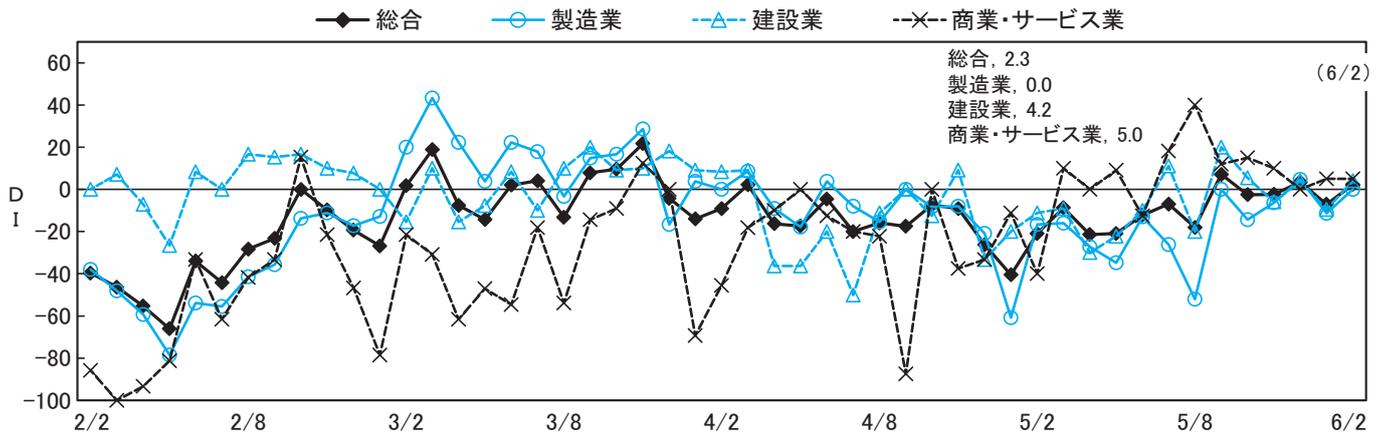
グラフ2 当地域の回帰定着率の推移（2016年～2021年）



【出典：ハローワーク飯田、飯田市回帰率調査】
(飯田市 地域活性化プログラム2023より引用)

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI (本誌調査)

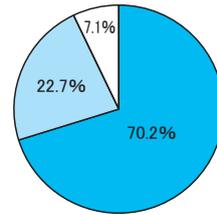


飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上)	県内	5件	(前月 8件)	(前年同月 4件)	(前々年同月 3件)	(令和元年同月 4件)
	飯伊	1件	(前月 0件)	(前年同月 1件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (1月)		44戸	△ 22.8 %	29.4 %	2.3 %	△ 21.4 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (1月)		1.47倍	(前月 1.55倍)	(前年同月 1.60倍)	(前々年同月 1.54倍)	(令和元年同月 1.53倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,767台	0.6 %	△ 16.3 %	△ 0.8 %	△ 25.4 %
	中古車	672台	19.1 %	20.2 %	7.2 %	21.5 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (1月)	新車	2,816台	△ 18.9 %	△ 29.0 %	△ 12.5 %	△ 34.1 %
	中古車	815台	△ 8.9 %	0.7 %	4.0 %	15.6 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	81,913台	△ 6.2 %	1.8 %	18.0 %	△ 16.1 %
	出	82,460台	△ 5.4 %	0.9 %	18.3 %	△ 16.7 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	46,311台	△ 6.9 %	△ 0.3 %	14.4 %	△ 27.7 %
	出	43,031台	△ 5.5 %	△ 0.8 %	10.9 %	△ 29.5 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	9,163台	△ 15.8 %	△ 13.9 %	△ 10.3 %	△ 23.0 %
	出	8,743台	△ 16.4 %	△ 21.0 %	△ 14.0 %	△ 28.6 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	36,922台	△ 1.3 %	11.1 %	24.3 %	15.5 %
	出	37,209台	2.4 %	11.3 %	28.0 %	19.7 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	33,810台	△ 6.0 %	8.9 %	- %	- %
	出	32,583台	△ 5.6 %	6.7 %	- %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		135件	2.3 %	5.5 %	21.6 %	△ 10.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		7件	(前月 5件)	(前年同月 9件)	(前々年同月 1件)	(令和元年同月 31件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	18,557人	△ 13.4 %	23.9 %	250.5 %	△ 20.8 %
	飯田～名古屋	13,204人	△ 1.8 %	20.7 %	154.8 %	△ 24.2 %
	飯田～長野	3,385人	△ 2.7 %	14.6 %	66.7 %	△ 59.8 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	15,412人	△ 7.7 %	33.6 %	250.7 %	△ 17.8 %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,661人	9.0 %	4.4 %	14.1 %	△ 14.4 %
	右回り	2,754人	11.7 %	15.3 %	28.9 %	△ 10.5 %

若者は、企業にSDGsへの取組を求めています！

就職活動において、企業がSDGsに取り組んでいることを知ると志望度が上がりますか？



- 志望度が上がる・どちらかと言えば志望度が上がる
- どちらとも言えない
- 志望度は上がらない・どちらかと言えば志望度は上がらない

【出典】株学情 2025年3月卒業予定の大学生向けアンケート(2023年6月発表)

SDGs サポートサービス

企業のSDGs取組の評価・フィードバックを行うと共に、SDGs宣言の策定および個別課題の解決を支援します！

● サービスの特長

1 チェックシートに基づき貴社のSDGs取組のヒアリングを行い、専用のフィードバックシートにより評価結果を還元します！

- ・チェックシートは、「人権・労働」「環境」「内部管理・組織体制」「製品・サービス」「社会貢献・地域貢献」の5つのカテゴリ・28問からなります。
- ・フィードバックシートは、「評価結果A・B」「サポートリスト」「SDGs宣言候補リスト」で構成されます。
- ・評価結果において、SDGs取組の「強み」と「弱み」を明らかにします。

2 SDGs宣言の策定を支援します！

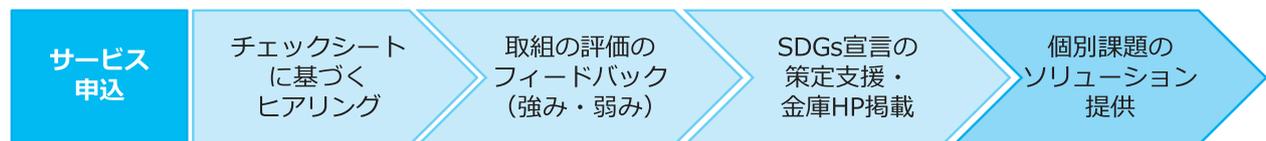
- ・「SDGs宣言候補リスト」を基に宣言内容について話し合いをさせていただきます。
- ・宣言書のフォーマットを複数用意しておりますので、気に入ったフォーマットをご使用いただくことが可能です。
- ・ご希望により、完成したSDGs宣言を当金庫HPに掲載し、対外PRのご支援をいたします。

3 評価で明らかとなった課題のソリューションを提供します！

- ・「弱み」に対するソリューションを記載した「サポートリスト」をもとに、課題解決に向けたソリューションを提供します。
- ・ソリューションには有償のものも含まれます。

※ チェックシート・フィードバックシートは、三井住友海上火災保険株式会社およびMS&ADインターリスク総研株式会社の支援を受け作成しています。提供するソリューションには、両社のソリューションを含みます。

● サービス提供イメージ（申込から宣言策定まで1～2か月程度となります）



● 利用料金 5万円（税別）

- ・SDGs取組の評価・フィードバックおよびSDGs宣言策定に係る料金となります。
- ・個別課題に対するソリューションには有償のものを含み、その場合別料金となります。

詳しくは飯田信用金庫本支店
または地域サポート部（53-5811）へ